



磐田南高校同窓会だより

No. 32

静岡県立磐田南高等学校同窓会 発行

発行責任者/同窓会長 櫻井孝順

同窓会事務局/〒438-8686 静岡県磐田市見付3084 TEL.0538-32-7286 FAX.0538-37-8375

印刷/総合印刷 (株)大進堂

ホームページ <http://www.iwatanet.com/bannan/>

第84回同窓会総会開催される



合言葉「PEACE」について
 今年の総会の運営幹事(高41回)の思いを込めた合言葉です。
 P = Pride / 見中・磐南卒業生としての誇りを持ちながら
 E = Enjoy / あの頃と変わらぬ仲間と楽しく
 A = Action / 活動してきました。
 C = Communication / 世代を超えた交流の場として
 E = Enter / 是非みなさんご参加ください。

8月15日、磐田グランドホテルにおいて盛大に行われました。
 総会では、開会の言葉のあと全員で校歌を斉唱。審議事項として、会務報告、決算報告、平成22年度役員改選、新役員紹介並びに会務計画、予算案が報告され、いずれも承認されました。
 懇親会においては、卒業70年、60年、50年の方々に記念品を贈呈されました。当番年次の皆様によるアトラクションも大いに盛り上がり、創立90周年に向けてますます絆を深めました。

総会・懇親会を終えて



高41回 小林 俊幸

生の皆様にご参加いただき、盛況のうちを終えることができました。とを心から御礼申し上げます。
 また、同窓会役員の皆様をはじめ、諸先輩方の多大なご支援、ご鞭撻をいただきましたことをあわせて御礼申し上げます。

当日は私も高41回生一同が、諸先輩方を敬う気持ちでできる限りのおもてなしを務めさせていただきますましたことをご理解いただければ幸いです。

今回表彰されました見中14回、高3回・高13回の先輩方改めておめでとうございます。
 懇親会閉会時に流した映像をご覧になった皆様から多くの拍手をいただきましたこと、製

したことは、アトラクションのелектーン演奏



アトラクションのелектーン演奏



卒業70周年の見中14回生



卒業60周年の南高3回生



卒業50周年の南高13回生



卒業40周年の高22回生より同窓会に資金援助

作した私どもも非常に感動し胸の詰る思いでした。
 同窓生として一生に一度の大仕事である、同窓会総会運営幹事の実行委員長を引き受け、昨年5月より準備を進めてまいりました。が、高校の頃の学園祭や部活動が思い出される貴重な1年間でした。

あの頃から20余年後に、改めて良き友と同じ時間を共有してこの会を作り上げることができ、このような機会を作っていた見付中学、磐田南高等学校の伝統に心から感謝すると共に、これからも良き伝統が引き継がれていきますことを心からお祈り申し上げます。

「」挨拶



同窓会のおかれましては、常日頃より同窓会諸活動推進にあたり、ご理解ご協力を賜りますことと厚く感謝申し上げます。8月15日第84回同窓会総会に於いて、第21代同窓会長の「承認をいただきまし

た高橋17回卒の櫻井孝順です。鈴木源市、大橋忍、山下六機各先輩の下で副会長を務めさせていただき、各会長により、着実に展開されてきた事業

・尾崎教育基金の健全な運営
・学校耐震化に伴う諸問題
・尾崎校長の五十回忌高知訪問
・寄付金自粛に伴う会費値上
等々、会員のご協力で一歩一歩

通算一三年目の磐南



4月以来、様々な機会に申し上げてまいりましたが、再度、自己紹介をさせていただきます。私は、昭和47年3月卒業の高校第24回生です。そして、教員となって二校目に本校に転入し、平成2年まで九年間勤めました。つまり、学生として教員として育ててもらえた磐南への着任には、「母校に対して何ができるのか」という、身の引き締まる思いがあります。

さて、創立以来八八年を経た本校ですが、校訓「質実剛健・真剣至誠・文武両道」の下、生徒たちは「こころざし高く、自らの向上に

同窓会長 高17回 櫻井孝順

実績を上げられております。お受けした任期、役員の方々、校内幹事のご協力を得て職務を全うしてまいりますのでよろしくお願ひ致します。

「人多人の中にも人ぞなき 人になせ人になれ人」
初代尾崎校長が、我が子の教育の重大問題だと「学校だより」発刊にあたり、父兄の方々に示された一言であります。国も社会も信頼のおける人物を育て上げることが学校と家庭との務め、こうした人物になるよう努力せよと述べられています。こうした創始の精神が「質実剛健・真剣至誠・文武両道」の校訓の元、全人格を磨き上げる教育を受けられた同窓生二万数千名が、それぞれに活躍されておる姿

磐田南高等学校校長 高24回 伊藤律夫

努めています。大学進学の実績だけでなく、部活動も盛んで、ほとんどの部活が県大会に出場しています。今年には弓道部男子団体が県大会で優勝し、陸上競技部とも全国インターハイに出場しました。ビジュアル部は全国総合文化祭に出場しました。また、「スーパーサイエンスハイスクール」の事業も、さらに高い成果を収めています。

ところで、私が入学した当時、北館の校舎は建て替えられていましたが、自分の教室は南側の木造校舎でした。正面玄関もまだ木造でした。今の武道場の所に図書館があり、高い天井の静謐さを懐かしく思い出します。そして、在学中には新しい校舎は出来上がり

事務局より

8月15日に、磐田グランドホテルにおいて、第84回見中・磐田南高等学校同窓会総会が多数の皆様のご参加により盛大に開催されました。準備及び当日の運営に苦勞された41回生の皆様に感謝申し上げます。

総会においては、昨年度の報告および今年度の計画などすべての会務・事業・予算関連議案が承認されました。また、役員改選案が承認され、櫻井孝順新会長のものと、新役員体制が決定しました。
次に母校の近況を報告します。スーパーサイエンスハイスクール(SHS)事業は二期五年の最終年を迎え、期待通りの成果をあげています。
部活動では運動部文化部ともに多くの成果がありました。運動部においては、陸上競技部田盤投げで内山匠吾が、静岡県代表として沖縄県で開催された高校総体全国大会に出場し、また同じく弓道部男子団体が高校総体全国大会に出場しました。文化部においては、ビジュアル部が七年連続で全国高文祭に出場し、また地学部は県内のみならず全国規模の数々の賞を受賞しました。SSHにおいては、9月にインドネシアのヨクジャカルタ市で開催された国際地学オリンピックに、全国の予選を勝ち抜いた日本代表四人の一人として、三年理数科の川島崇志君が出場するという快挙もありました。また、物理チャレンジ(全国大会)に、青島圭佑君他二名が出場し、青島君は優良賞を受賞しました。大学進学においても、また文武両道の実践校として県内外において高く評価されています。

今春の同窓会職員の人事異動においては、高木綱一先生が池新田高校教頭として、また鈴木敏彦先生が県教育委員会指導主事として転出されました。一方、島田商業高校から伊藤律夫校長を、また浜松北高校から鈴木敏士先生を迎えました。
今後とも会員の皆様の母校に対する御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。
(磯部豊彦)

慰霊祭を終えて



去る8月15日は、はくま会館において、県立見付中学校・磐田南高等学校の同窓生諸君に

加えて、この一年間の同窓生諸君六十三名と私たち32回生学友三名の総勢六十六名の御霊の平安を無宗教のかたちでお祈りをさせていただきました。
式は、次第に基づき、山下六機同窓会長伊藤律夫校長をはじめとした同窓会・学校関係者のご臨席を賜り、滞りなく終えることができました。
そして、慰霊祭終了後、招魂碑に向かい、手を合わせ、全員が菊の花を手向けました。十年前の同窓会総会の年次当番を受け持つことから、磐田南高等学校で学ぶことができた喜びと伝統の重みを改めて実感しました。それから今回慰霊祭を担当する重大な責任を感じながらこの十年間を過ごしてきました。

私たち32回生は、不慮の事故、病などによって三名の友を失っています。一緒に将来の夢を語り合った、今は亡き友のことを思い、また残されたご遺族の無念と、深い悲しみを思うとき、悔しさが溢れてくるのを禁じえませんでした。
しかしながら、母校に集い、早くして逝ってしまった友への思いをこうして語り合う機会を与えていただきましたことに心から感謝しております。
決して己の力だけでなく、多くの人々の支えがあって、はじめて私たちがいることを忘れず、この混沌する社会の中にあつて、その中核を担う年代として、私たちが果たす役割や責任を今一度問い直し、これからの人生を歩んでいきたいという決意を新たにしています。
ご協力ありがとうございました。



平成22年度慰霊祭担当年次高32回 小枝 隆

同窓生からの便り



見中卒70周年を迎えて

見中14回 亀井 善平

来る8月15日の総会で祝って下さるとのこと有難く存じます。然しその陰には27名の戦病死者があり、僅かなタイミングの差で生存を続ける吾々は複雑な気持ちです。例えば小生の場合九州特攻基地で他県出身の先発特攻の同僚を送り、後発の小生が終戦で生き残るとい

うその残酷さに眠れぬ夜もあつた。終戦直後、小生の気持を知人の和尚に打ち明けたところ、その命を貰ったと思えばよいとの答、その時は多少の矛盾を感じたが、現在ではその尊い命を貰い受けた積りで何とか生き続けている。平成22年7月記

卒業70周年、金賞を目指して

高3回 高橋 安彦

新会長のもと盛会に終わった84回総会に引き続き行われた懇親会で私達の代表13人が喜寿のお祝いを受け銀メダルを戴きました。大変うれしく厚く御礼を申し上げます。有難うございました。70代後半は思いやりと感動が必要とのこと、上を向いて幸いを求め着実な歩を進めてゆく所存です。時の過ぎるのは速く、申し遅れて恐縮ですが同級生の3人が皇居で叙勲を受けられています。故鳥山昭好、飯田弘治、織田武の3人です。同期で3人は快拳のきわみです。大きな

拍手を送り、ペンを置きます。

卒業50周年記念同窓会

高13回 大石 哲也

去る5月23日(日)にオークラ・アクトシティホテル浜松にて、卒業50周年記念同窓会が開催されました。

会には、恩師木村先生も含め101名と多数の参加を頂きました。全員で写真撮影の後、稲垣君の司会で進行され、恩師を含め31名の物故者に黙祷を捧げ、恩師の挨拶等の後懇親会に移りました。

50年振り再会という仲間も初めはどこかぎこちなさも見受けられましたが、すぐに学生当時に盛り上がりました。途中、故坪井安君作詞の歌「ありがとう」を陸上部の仲間にも加って歌う、外語部の仲間が木村先生と英語で歌う等の楽しい時間もあり、予定の2時間は瞬間に過ぎてゆきました。

兼子君のリードで校歌、応援歌を歌い、大桑君の発声で万歳三唱をし、名残を惜しみながら散会しました。



高13回卒業50周年記念同窓会

支部だより

関東支部

支部長 近藤 彰(高11回)



当支部は、静岡県東京事務所から県政の動向について何う機会を設けた。県は行政・教育・食と農の三改革を進めているとのこと。私たちが家計や尊い税金の支援で教育を受けたが、内閣府の子育て費用に関する調査結果等によると、出生から中学卒業までの家計と公費の教育費両負担を合せて約二九〇〇万円要し、その1/3は税金で充当されている。色々な意味でふるさとへ感謝したいという声もあつた。

5月の新入生歓迎会では28名(学生15、社会人各13)の参加があり、学生のキャリア開発支援のため若手先輩(院、新社会人、大4)から学業、就活等の講話があり有意義な会となった。

静岡支部

支部長 川島 安一(高18回)



「同窓会に出ても、帰りには空しい疲れが残る。」と言う声を聞く。久しぶりにお会いする方々との談話も良いのだが、話題の多くが平板な懐旧談に終始して発展や発見が無いと言つた。

人間社会は人と人との関係であり、物事の発展もそこから始まる。同窓の縁を持った人々が集まるのだから、何か「なるほど!」を創りたい。それぞれの経験や考え方の違いの中にこそ、未来に繋がる何物かがあるはずだ。世代を超え

て集う同窓会はそんな場になるのではない。静岡支部(約40名)は、老いは若きに若きは先達に学ぶことで縦に繋がる活動を目指したい。

磐田支部

支部長 長谷川寿一(高11回)



本年4月10日、グイール迎賓館磐田にて、支部会を実施しました。

役員各位の御協力のおかげで、来賓始め百三十余名の参加をいただきました。当日は、高21回生の作成したCDを見ながら、旧交を温め、一夜ゆつくり語り合うことができました。毎回、会場確保の難しさや、支部範囲等が課題になりますが、母校の足元であり、多くの会員がこの会を楽しみにしていますので、市内に限らず、広く呼び掛け、同窓生が気軽に集まる場にしたいと思います。

豊田支部

支部長 清水 孝男(高16回)



2月の初旬に開催する支部総会・講演会が主な事業となっています。

講演会では、行政の方郷土史研究者、諸団体のリーダーの方々を講師に招いています。前回は前市長の鈴木望氏に「新磐田市誕生を振り返って」と題し、合併に至るまでの経過・共通課題等について興味深いお話をいただきました。同窓会は世代の違う会員が一同に会し、異業種の方や様々な人生経験・体験をお持ちの方との貴重な交流・懇親の機会でもあります。

袋井支部

支部長 久野 亮一(高11回)



昨年思つた今年も暑い夏がやってきた。今年も例年とは

大分違い、突然梅雨があけたら連日猛暑が続き、日本中で熱中症で死亡者が増え続けている。世の中に新しい問題が発生すると、社会は警戒をする必要があり、それを人々に知らしめ、事実を正確かつ迅速、的確に伝えると共に、客観的に認識することが必要だ。磐田南高校の二十年ほど前から取り組んできた国際化教育、エコ問題などに対し地道な努力と学習を継続したことが、昨今の多文化共生社会、国際理解教育や自然環境問題、エコロジー社会への活動を通じて大きな貢献をしています。これまでにかかわった学校関係者、学生や同窓の方々に各分野で活躍されている関係者に深く敬意を表するものであります。

平成22・23年度 同窓会役員

会長(新任)	櫻井 孝順	(高17回)
副会長	鈴木 昭次	(高12回)
副会長(新任)	伊藤 英明	(高15回)
副会長	袴田 悦子	(高16回)
副会長	高橋 耕太郎	(高18回)
副会長	原田 康代	(高20回)
副会長(新任)	八木 正文	(高23回)
副会長	山内 致雄	(高13回)
監査	長尾 仁	(高20回)
監査		

今

中国語通訳

この仕事が好きです



通訳ブースにて左側が神谷さん

高35回神谷晶子さん。このインタビュアーの為にわざわざ帰ってきていただき、はぐま会館でお会いしました。

滞在時間3時間。本当にありがたいとございまして、明るくて、パワフルで、さわやかな女性でした。ちなみに、海外に単身赴任中のご主人とはなかなか会えないそうです。中国語の通訳になるうと思っただけは？

大学入試の時に外国語

を身につけたいと思い、東京外国語大学で中国語を専攻しました。卒業後2年程会社勤めをし、体調を崩したのでフリーでできる通訳を目指しました。

通訳になるにはどんな資格が必要ですか？

何もありません。実力を認めてもらえたら、その会社に登録しておきます。他から仕事が回ってくることもあります。

通訳って具体的にはどうやるのですか？

標準語を使います。中国にはいろいろなことばがありますが、これは教育を受けた人なら全国で通じます。中国ではまだまだ貧しい人達も多く、教育を受けられない人もいますので、

逐次通訳……相手がいやべり終わってから通訳します。

同時通訳……相手がいやべり始めたら、ほぼ同時に通訳します。私はこの方が得意です。

普段はどんなスケジュールで仕事をしていますか？

3日に1度くらい会議があります。あとの2日は、膨大な関係資料に目を通すのに必死です。勉強勉強の毎日、ほとんど休みはありません。

今までの、記憶に残っている仕事は？

内視鏡を使った心臓カテーテル手術の実況中継をした時、黙って早く済ませてと、ハラハラドキドキしました。

胡錦濤国家主席や温家宝首相、麻生元総理の記者会見、中国の女優や歌手の通訳もしました。

通訳をしてうれしかった事は？

ある国会議員の通訳をした時、終わってから、通訳さんがいたの？と、言われました。ご自分が直接相手と話をしたと思っていたのです。黒子に徹したい私にとっては、やった！という感じでした。

冗談を訳して笑ってもらった時。国によって受け取り方が違うので、わかってもらった時はうれしいです。

今後の抱負をお聞かせください。

この仕事をできる限り続けていきたい。又、日本語を母国語とする人の中国語通訳を育成していきたいと思っています。

作曲家 山下康介さん



忙しい毎日をお過ごしの高44回山下さん。編集委員から質問をお送りし、お答えいただきました。

どういうきっかけで作曲家を目指したのですか？

ひとつのきっかけは、中学の頃に吹奏楽に出会ったことです。結構どっぷり嵌ってしまいました。

それとは別にピアノも習っていたのですが、あまり練習しなくて(笑)、そんなに上達しませんでしたね。

でもいい音楽に出会った時って、幸せな気分になれるじゃないですか。で、自分も好き勝手に曲を作ったりしていました。高校2年くらいで進路をどうしようかというときに、ホントに自分のやりたいことって何だろうかと。作曲をやりたい。そう考えてからは必死で勉強しまして、なんとか音楽大学に進学することができました。

現在どんなお仕事をしていますか？

基本的には24時間営業です(笑)、忙しい時はもちろん休めません。正月も定期的に仕事が多いんですよ。ですからなかなか磐田には帰れません。

逆に、平日でも仕事の進み具合によっては休めます。曲を作る時は一人きりですから、自分の判断次第といったところでしょうか。眠い時はちゃんと睡眠を取った方がかかりますしね。

今後の抱負をお聞かせください。

これまで同様、劇伴の仕事はやりたいですが、他にも、たとえばプロデュース的なことにも興味があります。もっと総合的な観点でモノを作るというのでしようが、音楽を中心に新しいことにチャレンジしていきたいです。また仕事とは別に音楽を通じての出会いやコミュニケーションをより大事にしていきたいと思っています。最近では地元での交流も少し増えまして、自分の曲を吹奏楽とかで演奏してもらえたり、こういう機会はホントに楽しくて、忘れかけていた大事なものに気づくこともあります。

山下さんの至福のひと時とは？

仕事でお世話になってい

卒業生は

夢が叶ったのは 母校のおかげ

高41回 鈴木弘康



同窓生の皆さん、こんにちは。僕は現在「すずきB」というペンネームで、「秘密のケンミンSHOW」や、「ぶっすま」など、パフエティ番組の放送作家をしています。新番組を考えたり、番組を面白くするアイデアを出したり、台本を書くのが主な仕事です。

また、「ルナレガロ」という料理イベントのプロデュースをお手伝いしたり、「クチコミ〇〇が通う店」(http://oigohan.jp)という携帯サイトの

運営もしています。僕の連載が携帯で読めるので是非のぞいてみてください。

僕は、幼い頃からテレビが大好きで、6歳のとき、磐田市民体育館にドリフターズが公開録画に来た時の記憶を鮮明に覚えています。以来、何となくテレビの世界に関わりたいと思うようになり、高1のときの教育実習の先生との出会いが、その後の僕を決定づけました。その先生は、実はフジテレビに内定済みで、僕がテレビ界で働きたいと相談したら、絶対に東京の大学、しかも4年間キャンパスが都心にある学部。青学は2年厚木だからダメ」と、衝撃的なアドバイスをくれました。結果、それが功を奏し、大学在学中に放送作家になれ、今につながっています。

さらに、高3のときの「はくま祭」の経験も貴重でした。当時、「ねるとん紅鯨団」という番組が全盛期。僕は、クラスの余興で「ねるとんをやろう」と提案しました。中には「テレビみたいに出来るわけがない」という反対意見もありましたが、僕は仲間

「将来テレビの仕事がしたい」と語った手前、意地でも作ってやる」と燃えました(笑)。

多くの同級生や知人の協力の甲斐あって、テレビと同じ手法で、ねるとん(お見合い)のロケをし、編集し、テロップや効果音もテレビと全く同じようにパロディして1本の作品を完成させました。「はくま祭」当日、噂が噂を呼び、そのビデオを上映する本番には、教室に入りきれないほどのお客さんが集まり、僕は嬉しくて泣きそうになりました。その経験は大きな自信になり、今の仕事の支えになっています。

在校生の皆さん、高校での経験は、将来を大きく左右します。大事なのは有言実行です。夢を語りあい、チャレンジしてください。



高11回は今年の総会の当番年次。すずきBさん担当のアトラクションを楽しんだ方も多いと思います。



る演奏家や関係者、または同じ作曲家仲間で飲んだりする時ですかね。仕事を離れてそういう時間をもてることはうれしいですし、人とのつながりは大切にしていきたいです。

卒業生に一言お願いします。

きつとみなさん、夢や希望をたくさん持っているで

しょう。恐れずに邁進してください。そして、人との出会い、コミュニケーションを大事にしてください。自分一人ではないということ、意外なところで人はつながっているものです。きつと多くの人が支えてくれることでしょう。皆さんの活躍を期待します。

そこで私は映画を作った

高51回 池田千尋



映画を初めて作ったのは、高校在学中のことでした。放課後の空き教室で、下駄箱で、屋上で、小さなビデオカメラを構える。出演者は友人。時には自分。手探りで書いた脚本に従い、芝居を作る。撮影する。編集する。するとそこには、映画のようなものが生まれている。はくま祭での初めての映画上映。作品を見てくれた人たちからもらった大きな反応。自分の作ったものが、それまで知ることのなかった人たちの感情を揺り動かす、そこに新しい思いまでもが生まれている。なんて

初めての映画作り、上映で感じた喜びをもう一度掴みたい、その先をもっと見たい、まだ先を、まだ先をと映画を作り続け、十年目となった節目の年には、『東南角部屋二階の女』(出演・西島秀俊、加瀬亮)という作品の監督として、商業映画の世界に足を踏み入れることも出来ました。しかしそれもまた一つの区切りでありませぬ。更に厳しい道のりが、既にここで始まっています。

今はまた、次の作品になるだろう映画の脚本を書き上げ、躍いて転んで起きて転んでしながらも企画実現のため

に前に進む毎日です。日々の中、明日が見えない不安に心が折れそうになることはしょつちゅうで、厳しい日本映画界の現状に絶望的な気分になることすらありますが、それでも私は、これから出会うであろう未来の観客のために、そしてなにより自分のために、映画の力を信じ、またその先に進み続け、映画を作りたいと思います。

「映画」という、その果てしない道のりをどこまで歩いていけるのか、困難でありながらも、これほどに心躍らせる旅路の真つただ中に、今も私はいます。そこで映画を作ったこと、それが全ての始まりでした。磐田南高校で出会った、あの頃共に映画を作った友人たち、今なお映画作りを応援し続けてくれる友人たち、そして家族に、心から感謝します。ありがとう。

プロフィール
作曲家・編曲家・日本作編曲家協会(JCABA)理事。主な劇伴音楽作品 連続テレビ小説「瞳」、テレビドラマ「花より男子」、映画「転校生」さよならあなた、アニメ「デジモンクロスウォーズ」など。舞台「おくりびと」、宮本亜門演出のミュージカル「太平洋序曲」・「スウィーニー・トット」などの公演音楽監督。

ひろば

～私の宝物～

齊藤 智徳(高15回)

「何でも鑑定団」に出すような宝物は無い。南高を卒業した後、大学院も入れて東北大に6年。その後、国家公務員として今は無くなってしまった北海道開発庁に30年。リタイアした後、自転車競技を主催する財団、寒地土木の研究所、民間会社等通算40年超にわたるサラリーマン仕事人間。その間、東京、札幌、帯広、網走、室蘭など何回引越しをした事か？多くの場所でも多くの人たちと出会った。仕事上での摩擦、トラブル。今でも許せないあの事、彼奴。いろんな事があったけど、今は妻と二人暮らし。たまに旅行に行った



り、札幌ドームで日本ハムの野球を見ながらビールを飲んだり、家庭菜園の草取りをしたり。この静かな暮らしが一番の宝物。

寺田 暉(高16回)

日刊の日本経済新聞の最終面に「私の履歴書」という連載記事がある。国の内外を問わず政治経済、文化芸術、スポーツ等各分野で多岐に亘る著名人の経歴が掲載されている。

昭和31年の3月から、実に50数年にかけて、毎月一人宛の足跡が連載されている。既に鬼籍に入られた著者も多い。決して功名を連ねた単なる「サクセスストーリー」でなく、腕白な幼少期、恋愛物語、事業の失敗談等味付けは豊富である。また、著者を中心とした著名人間の相関図はある種の歴史の裏側を知

る上でも興味深い。

この連載との最初の出会いは、30歳頃の古本屋での7巻から始まる。わずか4、5年分である。その後5年程前に新聞広告を見て38巻を手に入れ本棚に追加した。いずれも特集限定版である。しかしそれでも50数年の中ではほんの一頁に過ぎない。そこで起死の思いで始めたのが目刊のスクラップである。考えてみれば手のかかる作業ではある。手抜きを何十分と「怠惰の山」を築くこともしばしばである。

さて、「宝物」と言える物の無い者の言い訳と自己弁護を是非聞いて戴きたい。

「宝物」とは人それぞれの「価値観」と裏表にある。断じて既存のブランドではない。自分なりの「価値観」の中には何時もその「宝物」が未完成なものであるという事と完成に向け自ら創造的であれという願いが込め



られる。そんな訳でこの「私の履歴書」はこの願いに叶うものである。

ひさしづりに近くに住む兄が「また一冊貸してくれ」と言ってきた。

松浦 直人(高31回)

私の宝物、と考えるのですが、いつく物は無かったのですが、時間と空間ならありました。写真は分かりにくいと思いますが、今年7月11日にイースター島で見た皆既日食です。モアイ像と太陽が写真に納まっています。

皆既日食は、太陽と地球の間に月が入り、その影が地上に投影される、それだけの現象ですが、地上最大のショーです。昨年は奄美諸島など日本でも観測できたので話題になりました。皆既日食は決して珍しい現象ではなく、年1回くらいは起きるものですが、世界中に何万人もエクリプスハンターと呼ばれる「日食のおっかけ」がいます。私もその一人で、

1988年のインドネシアを皮切りに、メキシコ、ペルー、トルコ、マダガスカル、モンゴル、屋久島、イースター島と8回観測に行き、屋久島以外は全て見ることができま



した。

興味の無い方からは呆れられていますが、黒い太陽がぼつかりと浮かぶ時間と空間を味わうと病みつきです。たった数分ですが、月の影がせまり、気温が下がり、風向きが変わり、動物が騒ぎ、地上にシャドーバンドと呼ばれる縞が走り、ダイヤモンドのような輝きの後にぼつかりと黒い太陽が浮かぶ、というような現象が詰まります。しかも毎回違う太陽の輝きや地上の現象が見られますし、慣れないと全てを見ることができないので何回も足を運んでしまいます。

勤務先が宇宙航空研究開発機構ということもあり、天文現象に興味がある人間が多く、毎回仲間と行くのも楽しみの一つです。また、皆既日食のときは新月なので夜の星も絶品です。マダガスカルとモンゴルで見た膨大な星々は忘れられません。このような宝物はいかがでしょう。一度はご覧になることをお勧めします。

ふるさと 故郷の周辺をたずねて

見付天神の歴史と裸祭

文 中山正典(高28回)
写真 見付天神裸祭保存会

鬼踊り



神輿の選御



浜垢離

天下の奇祭 裸祭

国指定の文化財

「見付天神裸祭」は毎年、旧暦の8月10日の直前の土・日曜日に行われている。この祭は、その文化的価値により平成12年に国の重要無形民俗文化財に指定された。祭の起源は明確に文献等に残されていないが、993年に天神を



国指定証書

勸請した際とする説、または人身御供の怪物を退治した1308年(延慶元)に、見付の人々が歓喜して舞ったのが始まりという説などが一般に流布している。草鞋に褌、腰褌等を身に着けた裸の男たちが見付地区を練り歩き、見付天神拝殿で乱舞することから「はだかまつり」と呼ばれるが、その中身は厳格なしきたりと強固な祭祀組織によって構成された伝統文化である。

勇壮な鬼踊り

祭は大祭の一週間前から始まる。「祭事始め」「御斯葉おろし」「浜垢離」「御池の清祓い」と呼ばれる祭事が厳肅に執り行われる。中でも、「浜垢離」は大祭の三日前に、氏子である見付住民が福田の海岸に向き、禊ひとつになつて海水で禊ぎをする。

大祭当日は、夕刻6時に各町から子どもたちの練りが出て、見付

天神に参拝し、見付の町を練り歩く。夜9時になると、町印の入った鉢巻に、白褌、腰褌、黒足袋に草鞋の裸の男たちが、各町から練り出し、四つの梯団(グループ)にまとまって、見付天神に向う。夜11時を過ぎると裸の練りが次々と見付天神の拝殿に飛び込み、激しい練りの「鬼踊り」が練り上げられる。このころになると、見付の住民と観光客で拝殿の周りが埋め尽くされる。午前0時30分、全ての灯りが消され、暗闇の中、神輿が多くのお祭りに守られて、見付宿のほぼ中央にある淡海国玉神社(総社)に渡り、翌日の夜8時に見付天神に戻り、一連の祭事は終わる。

見付天神の歴史

磐田市見付地区(約7500戸)の産土神である見付天神はその正式名を矢奈比賣神社といい、旧見付宿の北東に鬱蒼と茂



見付天神 拝殿

る照葉樹林の丘陵の中にある。創建は詳らかではないが、「延喜式」に記載されている「式内社」であり、古代より連綿と続く、見付地区住民の守護神であり続けてきた。「続日本後紀」には、840年(承和7)に「遠江国磐田郡無位矢奈比賣天神従五位下」と記されており、また、993年(正暦4)には太宰府天満宮より、菅原道真公の御分霊を勸請したとあり、現在でも、矢奈比売の神と道真公の霊験が世に広く知られ、地元を代表する社として祭られている。

霊犬 悉平太郎

怪物退治の伝説

見付天神の赤鳥居の前には霊犬「悉平太郎」の像が建っている。「磐田市誌」(昭和31年刊)等には人身御供の伝説が記されている。それによると、見付天



悉平太郎 像

神の森には怪物が住み、毎年8月10日の真夜中に宿中の娘を生きたままに棺に入れて、その怪物に供えた。この怪物は、信濃の国の早太郎とよばれていた犬を恐れていることを知り、この犬を光前寺から借り受け、棺の中に入れて怪物に捧げたところ、

この早太郎が怪物を退治したというものである。この早太郎が見付では「悉平太郎」という名で伝承されている。

悉平太郎700年記念

今年、安政7年に悉平太郎没後550年目の法要が光前寺(現駒ヶ根市)で行われてから150年目となることから、市内では悉平太郎700年を記念した行事として、説話・伝承学会主催の講演会などが開催されている。

地域ぐるみで継承

平成14年に裸祭保存会が整備された。氏子全員が会員である組織である。この会の目的は「見付天神裸祭」の伝統ある形式とその格調を受け継ぎ、正しくこれを保存・継承すること」にある。現在、保存会は、石川大造会長(高校12回)の下、毎年のガイドブックの刊行と地元中学校での腰褌作りを核に、ワークショップの開催や裸祭の研究調査を行い、裸祭の保存継承に実行部、青年部と連携を図り取り組んでいる。



石川大造 保存会長

ニューズスポット

土浦第一高校
校歌作曲者としての尾崎先生
磐田南高校教諭 駒形 路(高34回)

一昨年の夏、茨城県立土浦第一高校のN教諭一行が、お忍びで学校訪問にやって来ました。聞けば、人脈を頼りに全国のあちこちの進学校を回っては、公式の訪問では聞き出せない本音を探るには最善の方策だそう、その夏もそこそこを回り回って、最後が本校である、との由。

旧友のS教諭を交え、あれこれ話しながら、渡された「学校案内」に目をやると、全国でも数少ない、今に残る明治時代の学舎として有名な旧本館の写真。脳には校歌の歌詞。その作曲者の名を見て、我が目を疑いました。そこには、「尾崎楠馬」の文字！

尾崎先生が国語漢文の教員だとは知っていたので、作詞の間違いかと思いきや、さにあらず、確かに作曲者。急ぎ先生の「年譜」を繰ると、見中創設一五年前に確かに旧制土浦中学に在職。

(ちなみに、そこで小田原勇

先生と出会い、両名が見中・磐南の基礎を築くことになる)

後に送られた資料に目を通すと、開校間もない学校にあって尾崎先生は、夏休みに校歌作詞の課題を出し、その一等人選作に自ら補筆、作曲したとのこと。

かつて本校図書館の奥から自筆の水彩画を発見した時にも、その画才には驚かされましたが、今回はオルガン演奏も巧みに、今も歌い継がれる名門校の校歌作曲とは。あらためて、尾崎先生の多才ぶりを思い知ることとなりました。

見付中学・磐田南高校の基礎を築いたのは、間違いなく尾崎・小田原両先生ですが、その尾崎・小田原両先生を結びつけたのは、この土浦中学で、ともに青年教師として働いた日々。その証が校歌の旋律に残されていることを発掘できたのは、母校に長く勤務する私にとつて、望外の喜びとなりました。



国指定文化財 旧土浦中学校本館

マウンテンビュー高校からの交換留学生を受け入れて

38HR 高柳奈央

Joannaは、昨年私がマウンテンビューを訪問した際泊まらせていただいた家の子で、

久し振りの再会となり、とても嬉しかった。しかし自分が受け入れてもらうのと、ホストの役をやるのでは、やはり違うと思った。訪問の時は必要な情報を聞く形が多かったが、ホストとなると英語でこちらから伝えることが中心となったからだ。幸いJoannaはとても頭が良く、私が言おうとするをよくよく分かってくれたので助かった。また私が訪問した時は全く違う世界に入ってゆく感覚だったが、Joannaにアメリカ力との違いを感じるかと訊くと、「アメリカと似ている」と答えることが多かったのも印象的だった。三年生ということで、部活動も勉強も手を抜かず、Joanna、友人、家族には迷惑をかけてしまったけれど、とてもいい経験をさせてもらったと思っている。



醍醐荘でのウェルカム・パーティー

今年の はぐま祭について

生徒会長 34HR 石川 拓人

今年のはぐま祭は大成功だったと、私は胸を張って言える。

言うまでもなく、部展やクラス展は、個性あふれるアイデアがすばらしかった。しかし、私が一番心に残っていることは、磐南生のすばらしさである。アイデアも含めて、この行事で私は、どれだけ磐南生に支えられて生徒会長を務めてきたか分かった気がした。前日までの準備や、



はぐま祭アーチ



ビッグアート



はぐま祭HR展



はぐま祭写真部



はぐま祭HR展



書道部

はぐま祭ポスター類



開会式の盛り上がり、最後の片付けまで、全力で取り組んでくれた。はぐま祭が終わった時、その達成感より、感謝の気持ちでいっぱいだった。

大学合格状況

(数字は過年度卒を含む合格者延べ数)

国立大学	人数	公立大学	人数
北海道	11	高崎経済	5
東北	12	群馬県立女子	1
山形	2	首都大学東京	6
茨城	1	横浜市立	1
筑波	2	福井県立	1
埼玉	2	山梨県立	1
千葉	7	都留文科	2
お茶の水	4	静岡県立	6
電気通信	2	愛知県立	4
東京	3	三重県立	1
東京医科歯科(看護)	1	京都府立	1
東京外語	3	大阪府立	1
東京学芸	2	大阪府立	1
東京工業	3	神戸市外国語	2
東京農工	1	公立大学合格合計	33
一橋	2		
横浜国立	3	私立大学	人数
富山	3	青山学院	10
金沢	2	学習院	2
山梨	2	慶應義塾	21
信州	1	国際基督教	2
静岡(人文)	9	上智	1
静岡(教育)	21	専修	12
静岡(理学)	3	中央	31
静岡(工)	9	津田塾	4
静岡(農)	2	東京農業	8
静岡(情報)	4	東京理科	27
浜松医科(医-医)	4	日本	15
浜松医科(医-看護)	1	日本女子	6
名古屋	9	法政	30
名古屋工業	4	明治	25
岐阜	1	立教	16
三重	4	早稲田	25
京都	7	常葉学園	24
大阪	6	静岡文化芸術	8
大阪教育	1	南山	8
神戸	4	名城	8
奈良女子	4	京都女子	5
島根(医-医)	1	同志社	37
広島	1	立命館	75
香川	1	関西	14
高知	1	関西学院	4
熊本	1	…(他略)…	…
国立大学合格合計	167	私立大学合格合計	644

在校生の活躍

平成22年度部活動報告

野球部

第92回全国高等学校野球選手権静岡大会
 1回戦 本校 7 - 1 横須賀高校
 2回戦 本校 9 - 2 江ノ島高校
 (8回コールド勝ち)
 3回戦 本校 3 - 6 掛川西高校



野球部

陸上部

東海高校総体(於/瑞穂陸上競技場)
 円盤投げ 内山 匠 決勝6位
 400mハードル 山本亮太 予選5位
 男子棒高跳び 疋田将平 決勝9位
 東海陸上競技選手権大会(松本市)
 3000m障害 石橋輝久 決勝7位
 全国高校総体(沖縄大会)
 円盤投げ「2組」 内山 匠 41m22



円盤投げ 内山選手

弓道部

東海高校総体(於/愛知県蒲郡市)
 全国高校総体(於/沖縄県)
 12中 予選突破 決勝進出



弓道部 男子団体

水泳部

東海高校総体7/24・25
 男子水球 7/24・25 4位
 (於/愛知県^{こころぎ}論議運動公園プール)
 磐田南 13 - 4 岐阜農林高校(岐阜)
 磐田南 1 - 12 津田学園高校(三重)
 磐田南 4 - 11 四日市中央工業高校(三重)
 磐田南 2 - 5 大垣東高校(岐阜)
 競泳50m自由形 村松千晴
 日本ガイシ・アリーナ 24位
 女子水球(ビシーナ静岡=県西部の連合チーム)
 全国JOCジュニアオリンピックカップ
 8/27 広島県 ベスト8
 ビシーナ静岡 10 - 2 早良水球クラブ(福岡)
 ビシーナ静岡 4 - 10 TOKUHARU(埼玉)



水泳部 男子水球



ビジュアル部

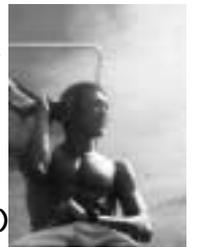
ビジュアル部

全国高等学校総合文化祭宮崎大会
 川崎瑠理・鈴木 梓
 林 優綺・澤崎早織

写真部門

フィルム部門優秀賞(最高賞)

川崎瑠理 『海を護る者』 海を護る者



第4回国際地学オリンピック

(9/16~28 インドネシア・ジョグジャカルタ)



日本代表 川島崇志(中央)と、国内本選に出場した市川久史(右)と春日優子(左)

9月にインドネシアで開催される第4回国際地学オリンピックには、日本代表として本校の川島崇志君(水泳部 男子水球)が参加する。夏休みの8月中旬、そのための強化合宿に参加した川島君にお聞きした。

Q: どんな合宿だったのですか?

A: 4日間の合宿の初日は山梨県の清里で天体観測をしました。インドネシア大会仕様の組み立て式反射望遠鏡を操作して月や土星を観測しました。その夜は天の川がすばらしく流れ星も見えました。二日目、三日目は箱根に移動して、博物館で岩石

や火山、地層の講義を受けました。四日目は朝、湘南海岸で海岸の地層調査について実地に研修しました。本番に向けて良いシュミレーションができました。

Q: 強敵はどこですか?

A: 昨年は強豪国台湾が金メダルで、日本は銀メダルでした。

Q: 日本のチームワークはどうですか?

A: 日本代表は4名で、私と、広島、兵庫、神奈川出身の男子高校生の計4名です。チームワークはすばらしいです。是非メダルを取ってきたいと思います。

地域に密着した医療を目指します
 内科・小児科 **木佐森医院**
 院長 木佐森正樹(高25回)
 〒438-0077 磐田市国府台55-1
 TEL.0538-32-2555
 一般及び寝たきり老人 往診応需
 禁煙治療(保険可)

総合建設業



ISO9001 14001認証

石川建設株式会社

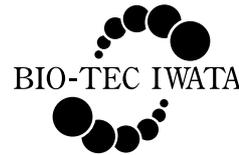
磐田市今之浦5丁目1-1
TEL (0538) 36-0021



処方せん受付 マイクロダイエット

国府台薬局 ファミリー薬局 (二之宮)

磐田市国府台94-3 TEL 35-2175
鈴木麻里奈(高38回)



磐田化学工業株式会社

本社 〒438-0078 静岡県磐田市中泉3069番地 TEL(0538)35-5100(代)

レンタル 建設仮設材レンタル 人材 人材紹介・派遣サービス
 請負 クサビ式足場請負 機械 仮設材清掃機販売

site 株式会社 サイト

代表取締役 大庭 義信(高20回)

本社 浜松市西区伊左地町2790-1 ☎(053)485-4126(代)
 東遠営業所 掛川市大坂6369 ☎(0537)72-4129
 人材事業部 ☎0120-452-310

<http://www.your-site.co.jp>



愛されて60年
 これからもあなたの暮らしの応援団
磐田信用金庫

〒438-0078 磐田市中泉578番地1
 TEL.0538-32-5110・FAX.0538-34-8021
<http://www.iwashin.co.jp/>



シキ写真館

椎木 宏(高2回) 椎木 厚(高3回)
 椎木泰行(高6回) 椎木雅章(高33回) 椎木隆太(高37回)

本店 / 磐田市加茂川通り Phone(0538)32-6435
 浜松店 / ホテルコンコルド浜松3F Phone(053)452-1231
 愛野店 / フォスタジオアムール Phone(0538)43-5225

磐田脳神経外科病院

24時間いつでも診療します。脳ドック検診受け付けは随時

院長 金子的 実(高21回)

〒438-0086 静岡県磐田市見付1766番地の1
 TEL (0538) 34-1111 FAX (0538) 32-1441

<http://www.iwatanoge.com>

もしものとき安心のセレモニー

シティホール

磐田 豊田

株式会社いわたや
 磐田市森下81

人・出会い・感動.....そして発見

ホテル 観世

袋井駅前 TEL.(0538)43-1212
 比那 純(高15回)

有限会社

城山不動産

磐田市城之崎3丁目4-18 TEL 0538 35-8222(代)
 FAX 0538 35-8597
 代表取締役 鈴木 克三(高15回)

和の心 贈ります
かしゅう
 菓子勇本店



いわたブランドのお店です

5代目店主 山田 清次(中21回)
 山田 佳幸(高28回)
 磐田市坂上町2988 TEL・FAX 0538-32-3340

NAC
ナックフィーディング株式会社

本社・工場 〒438-0002 静岡県磐田市大久保117-3 TEL.(0538)38-2666[代表]
 東京営業所 〒142-0051 東京都品川区平塚1-15-2 TEL.(03)6426-9286
<http://www.nacweb.co.jp>

代表取締役社長 **深見 康弘** (高15回)

人・住まい・環境の最適調和がテーマです。

セキスイハイム東海

浜松市中区板屋町111-2(アクトタワー25階) 〒430-7725
 TEL:053-453-4560 FAX:053-453-4537
 ホームページアドレス <http://www.816t.jp>

原田和義 税理士事務所

税理士 原田 和義(高20回)

静岡県袋井市国本2493-7
 TEL&FAX 0538-43-2462

ヤマハ(株) 特約楽器店
(株) 創 楽 社

石川 勝康(高25回)

tel:0538-32-9035 fax:0538-35-0568
<http://www.sohgakusya.co.jp/>

さわやかな環境をクリエイト

BANNAN

磐南浄化槽株式会社

代表取締役社長
木戸 智弘(高34回)

磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

TK TANIKO 株式会社タニコー

高33回 水谷 眞啓
 高33回 青山 光男(旧姓 金原)

磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880(代)
 mizutanim@taniko.co.jp FAX 0538-67-1881
<http://www.taniko.co.jp>

ブランドリサイクル

金・ブランド買取専門店

PickUP

キンバリー

宮竹店・西伊場店・磐田店・掛川店

浜松高林店・浜松向宿店
 静岡SBS通り店

株式会社 **ピックアップジャパン** 本部 磐田市今之浦3-4-2
 URL : <http://www.pickup-japan.com>

長尾 仁 税理士事務所

税理士 長尾 仁 (高20回)

〒438-0086 磐田市見付3719-1
 TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735



小物部品・締結部品・
 精密ネジ部品

ISO9001 認証取得
 ISO14001

株式会社 マルイチ

代表取締役 **安間 信義**(高7回)
 専務取締役 **安間 浩彦**(高33回)
 取締役 **松島 孝久**(高17回)

本 社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540
 TEL(053)441-4684(代) FAX(053)441-3452

1冊からあなただけのオリジナル本を作成



カンタン個人出版「シムブック」

ネットで **大進堂 個人出版** 検索

詳しくはお電話でお問い合わせください
 ☎0538-32-9165(代)

ふるさと納税で「ふるさと磐田」の応援を!

ふるさと納税は、親しみや思い入れのある「ふるさと」を「寄附」を通して応援する制度です。ぜひ、「ふるさと磐田」に温かい気持ちをお届けください。詳しくは、下記磐田市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/gov/45/>



磐田市 政策企画課
 TEL.(0538)37-4805



企画・デザイン・印刷・ホームページ・個人出版
 株式会社 **大進堂**

〒438-0016 磐田市岩井2295
www.taishindo.co.jp

会計報告

平成22年度磐田南高校同窓会会計予算

収入 平成22年4月1日～23年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,260,000	平成22年3月卒業生326名分
預金利息・配当金	100,000	定期預金(静銀)からの利金74,455円追加
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高21回生)
雑収入	200,000	同窓会報広告代等
前年度繰越金	873,693	
合計	4,633,693	

支出 (単位:円)

科目	金額	備考
会務費	1,800,000	
会議費	350,000	役員会・評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	500,000	同窓会総会・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	600,000	支部総会助成・祝儀・旅費等
慶弔費	250,000	転退職饗別・慶弔費等
事務費	60,000	通信費・事務費等
事務局費	40,000	人件費・交通費
事業費	2,580,000	
卒業記念品代	200,000	校章入り印鑑
会報発行費	2,000,000	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	180,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	200,000	ホームページ運営費
予備費	253,693	
予備費	253,693	
合計	4,633,693	

平成21年度磐田南高校同窓会会計決算

収入 平成21年4月1日～22年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,100,000	平成21年3月卒業生310名分
預金利息・配当金	106,455	配当金・定期預金利息(静銀からの追加利金)
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高21回生)
雑収入	246,479	同窓会報広告代等
前年度繰越金	770,072	
合計	4,423,006	

備考:平成22年3月卒業生同窓会入会金(326名)3,260,000円は2/23に入金されていますが、平成22年度分収入とさせていただきます。

支出 (単位:円)

科目	金額	備考
会務費	1,464,813	
会議費	291,600	役員会・評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	456,317	同窓会総会・記念メダル代・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	503,600	支部総会助成・祝儀・旅費等
慶弔費	119,508	転退職饗別・慶弔費等
事務費	60,510	通信費・事務費等
事務局費	33,278	人件費・交通費
事業費	2,084,500	
卒業記念品代	196,020	校章入り印鑑
会報発行費	1,551,060	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	148,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	189,420	ホームページ運営費
次年度繰越金	873,693	
合計	4,423,006	

別途積立金会計	金額	備考
1 終身会費等の積立金(普通預金)	4,930,362	5 利付国債No.1 10,000,000
2 諸事業用予備金	1,046,303	6 利付国債No.2 10,000,000
3 定期預金(磐田信用金庫)	10,000,000	7 利付国債No.3 5,000,000
4 定期預金(静岡銀行)	10,000,000	8 磐田信用金庫への出資金 1,000,000
		9 名簿会計 5,963,891
		合計 ¥57,940,556

平成21年度会務報告

- 4/7 母校入学式 保護者オリエンテーション
同窓会だより第31号編集委員会(以後毎月継続して会合)
- 4/10 磐田支部総会 ヴィーヴレ磐田(旧クリフトン磐田)
- 4/13 校内幹事会
- 4/21 卒業50周年記念事業(高12回)母校に記念品贈呈
- 4/30 会計監査、役員会 役員と校内幹事との懇親会
- 6/12 役員会
- 6/20 評議員会・役員会 はぐま会館
- 7/24 役員会
- 8/1 袋井支部総会 袋井市総合センター4階
- 8/15 総会前日打合せ(役員、当番年次、校内幹事)
- 8/16 慰霊祭(高31回担当) 総会(高40回担当) 磐田グランドホテル 卒業40周年事業(高21回) 同窓会に資金援助20万円
- 9/11 会長選考委員会 関西支部総会 ホテル ヴィアーレ大阪(大阪本町)
- 9/28 静岡支部総会 クーボール会館
- 10/10 同窓会だより第31号発行
- 10/23 役員会、総会当番引継ぎ会(高40、41回)
- 11/13 関東支部総会 日本教育会館
- 2/5 役員会
- 2/13 評議員会懇親会(隔年開催)
- 2/14 豊田支部総会 熊野伝統芸能館
- 2/27 高校62回同窓会入会式
- 3/1 高校62回卒業式

今夏は30年に一度の猛暑にまわれ、体調管理に苦労しました。そんな中、総会も盛会裡に終了。ここに同窓会だより第32号をお届けすることができました。取材にご協力いただいた方、投稿下さった方々に厚くお礼申し上げます。

編集室より

平成22年度各種当番年次
卒業10周年 高校51回生(新年次委員選出)
卒業20周年 高校41回生(総会担当)
卒業30周年 高校32回生(慰霊祭担当)
卒業40周年 高校22回生(同窓会に資金援助)
卒業50周年 高校13回生(母校に記念品贈呈、同窓会より記念品贈呈)

平成22年度校内幹事役割分担

総括	磯部豊彦、(松本勝彦)、鈴木文基、大沢健一
役員会	磯部豊彦、(松本勝彦)、永田 淳、佐藤正明、鈴木文基、鈴木敦士
庶務	磯部豊彦、磯部欣宏、小杉友祐、澤井智ひろ、鴨藤忠博、(小澤美穂)
会計	佐藤正明、永田 淳、鈴木敦士
名簿編集・管理	磯部欣宏、林 研光
慶弔	林 研光、磯部欣宏
はぐま会館	松本勝彦、大沢健一
同窓会だより	鈴木文基、駒形一路、(村井雅子)、(小澤美穂)
ホームページ	林 研光、小杉友祐、駒形一路、(村井雅子)

- 編集委員
- 山下 六機(高9)
 - 櫻井 孝順(高17)
 - 鈴木 昭次(高12)
 - 寺田 政善(高15)
 - 伊藤 英明(高15)
 - 高橋 悦子(高16)
 - 高橋 耕太郎(高18)
 - 原田 康代(高20)
 - 横井 純夫(高23)
 - 鈴木 文基(高27)

shiko@kychiglobe.ne.jp
はぐまゴルフクラブ会長
鈴木滋彦(高24回)



第32回はぐまゴルフクラブ競技会が平成22年5月30日に静岡カントリー袋井コースを会場にして開催されました。「はぐまゴルフクラブ」は磐田南高同窓会員の有志の集まりで、二百余名が登録されています。毎年、5月の最終日曜日にコンペを開催しています。同窓会ならではの楽しい催しです。みなさんの参加をお待ち申し上げます。登録を希望される方は、左記メールアドレスまでご連絡下さい。

